

図書館サポーターズだより 明日に吹く風

風が涼しく感じるのに比例して、本格的な暑さになってきましたね！新生活にも慣れてきたところで、今回は更に皆さまの世界が広がりますよう、図書館サポーターがおすすめの図書を紹介します。



～図書館サポーター推薦図書～

『「青い鳥」をさがしすぎる心理—後悔しない自分の人生を歩むために—』

：加藤諦三 著 (159 || Ka86)

これさえあれば「幸せ」になれると思って努力して、でも実際は違った、なんてことはありませんか？無理に探しても見つからない、でも、実はそばにある。この本では、本当の「幸せ」とは何かということについて語られています。グサッとくる内容も多いですが、他者との比較や他人の目を気にしすぎるのが、虚しさや疲れに繋がってしまう様子がありありと想像できます。その分だけ、読み進めていくと逆説的に「自分自身」でことの大切さが見えてくるのではないのでしょうか。

残念ながら似たような内容が繰り返されて飽き飽きしてしまう部分もありますが、自覚しにくい(したと思ってもできていなかったりする)のが、「青い鳥をさがしすぎる心理」。じっくりと染み込ませるように、繰り返し語りかけるように展開していく文章はきっと、己を省みる時間の良き供になってくれるはずです。(Y.S)

『永遠の0』：百田尚樹 著 (913.6 || H99)

この本は孫二人が亡き祖父の生前を知るために当時のことを知る方を訪ねて戦争の話を聞き、祖父の人物像を追っていく中で祖父が家族と交わした約束を守るため強い信念を持って生きようとしたことを知るまでを描いたお話です。この本は映画化もされており V6 の岡田准一さんや三浦春馬さんなど豪華俳優陣が出演しており人気の作品でした。私は以前に観たこの映画作品の原作本を読んでみたいと思いこの度手にとってみました。今までは戦争の本は悲しいイメージがあり読むできませんでした。しかし戦争のお話の中でも主人公の「生きて家族のもとへ帰りたい」という家族への思いを感じることで心温まる作品でした。興味のある方はぜひ読んでみてください。なお視聴覚ライブラリーにDVDもありますのでご利用してください。(Y.T)

『白ゆき姫殺人事件』：湊かなえ 著 (913.6 || Mi39)

週刊誌の記者「赤星」は高校時代の同級生「狩野」から、ある殺人事件についての重大な情報を入手する。それは、彼女の会社の美人OLの不審な死だった。赤星は狩野からの情報を元に、容疑者の関係者たちから証言を集め、容疑者「城野」の本当の姿を明らかにしていく。果たして彼女は残忍な魔女なのか、それとも……。噂が噂を増幅する、ゴシップミステリー。



去年、井上真央さん・綾野剛さん主演映画として話題を呼んだ「白ゆき姫殺人事件」。真実が「人の噂」を介して嘘になっていくことの恐ろしさや、誰かがついた嘘がネットやSNSを介して本当になってしまう怖さがありありと描かれています。物語のほとんどが、関係者の証言のみで進んでいくので、誰が嘘をついているのかを推理しながら読んでいくことができ、最後まで一気に読み進めてしまいました。周りから思われている自分と自分が思っている自分とのギャップについて深く考えることのできる作品です。ぜひ、多くの人に読んでもらいたい1冊です。(O.N)

* 図書はメインカウンター脇にあります。ご利用ください。